

調査問題から見える「授業改善のポイント」＜中学校 国語＞

1二 文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉えることができるかどうかをみる問題

〔読むこと〕 ＜平均正答率 県 60.2%（全国比-1.3）＞

調査結果の分析

- ・ 5つの選択肢から適切なものを2つ選ぶ際に、1つしか選べなかった生徒は15.4%であり、1つも選べなかった生徒は24.4%である。
- ・ 部分的な読み取りにとどまらず、文章の展開に即して必要な内容を過不足なく捉えたり文章の内容を的確に捉えたりすることに課題が見られる。



文章で述べられている「弁当の魅力」として、適切なものを選択する

【授業改善のポイント】

○目的を意識して、情報を整理しながら文章を読む言語活動を充実させる

- 活動例
- ・ 説明的な文章を読み、理解したことや考えたことを報告したり説明したりする。
 - ・ 論説文や新聞記事などを読み比べ、理解したことや考えたことについて討論する。

○必要な情報を的確に読み取ることができたかを、生徒自身が確かめる場の充実を図る

- 活動例
- ・ 文章を読んで理解したことや考えたことについて説明し合う際に、疑問や意見を出し合い、必要に応じて、情報を収集し直す。
 - ・ 必要な情報が書かれている部分をどのように見つけたのか、その情報をどうして必要だと判断したのか、などについて説明し合う。

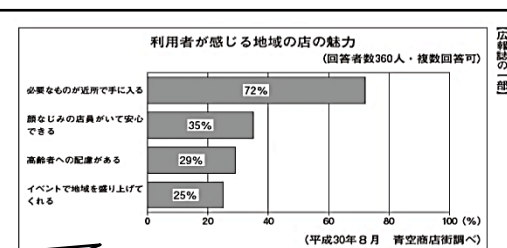
3二 伝えたい事柄について、根拠を明確にして書くことができるかをみる問題

〔書くこと〕 ＜平均正答率 県 79.3%（全国比+1.5）＞

調査結果の分析

- ・ 根拠となる情報を適切に用いた上で、それを基にした自分の考えを加えて書くことができた生徒は全体の58.2%であり、情報を適切に用いて書くにとどまった生徒は、全体の21.1%である。
- ・ 伝えたいことについて、資料の中から根拠となる情報を正確に書くことはできているが、読み手に分かりやすいよう、根拠と伝えたいこととのつながりを書くことに課題が見られる。

〔参考〕 平成28年度 小学国語 B2二(1)
平均正答率 県 49.8%（全国比-1.6）



【広報誌の一部】にある情報を用いて、意見文の下書きに、「魅力」の具体例を書き加える

【授業改善のポイント】

○必要な情報を根拠として取り上げながら考えを書く言語活動を充実させる

- 活動例
- ・ 他教科等の学習や総合的な学習の時間でまとめた文章や図表を用いてレポートを書く。

○目的や意図に応じて、相手にわかりやすく書くことへの意識を高める場の充実を図る

- 活動例
- ・ 自分の考えの根拠として用いる情報が適切かどうかを検討する。
 - ・ 書いた文章を読み合い、考えと根拠として用いる情報とのつながりが明確かどうかについて意見を交換し合う。